

Japanisch-Deutsche Gesellschaft  
Yokohama

# Der Hafen

(港)

## 横浜日独協会会報

発行 2012.10.1 (第11号)

事務局：〒223-0058 横浜市港北区新吉田東2-2-1-913

能登 崇 方

Tel & Fax 045-546-0801 (新)

e-Mail tak\_noto@yahoo.co.jp

会報編集責任者 大久保 明

e-Mail a-okubo1926@ttmy.ne.jp

### 早瀬会長tvk特別番組に出演

テレビ神奈川の開局40周年記念番組「あすの地球と子どもたち」が、9月8日から9日にかけ放送されご覧になられた方も多いと思います。この中の「環境先進国ドイツに学ぼう」にパネリストの一人として早瀬会長が出演されました。会長以外のパネリストは田坂宏志氏(ソフィアバンク)大石久和氏(国土学アナリスト)佐藤しのぶ氏(ソリスト)でした。今月の会報の会長コラム(右側)にも触れておられます。この番組の現地取材は8月号でもお知らせしましたが、当協会が協力致しました。本番組はDVDの録画を使用し12月例会(忘年会)で会員の方々ご覧いただく計画があります。

### 中小企業支援協力委員会の発足

9月の運営委員会で正式に「中小企業支援協力委員会」が発足しました。担当理事は神永晋氏、坂井啓治運営委員がリーダーとなり推進することになりました。既に8月の会報でお知らせしましたように、横浜市、フランクフルト独日協会との話し合いは進んでいます。今後の成果を期待したいと思います。坂井リーダーからの報告を次頁に掲載しております。関心をお持ちの方はどうぞ坂井リーダーまたは能登事務局長までご連絡下さい。

### チャリティー・コンサート(11月3日)

東日本大震災復興支援プロジェクト「ドコデモエコカー」支援チャリティー・コンサートを11月3日(土)チャリティー・コンサートを11月例会として開催します。

横浜日独協会理事ユードック氏が、東日本大震災発生後直ちに立ちあげた復興支援プロジェクト「ドコデモエコカー」(カーシェアリング・システム)は在日ドイツ大使館等多くの支援が寄せられ、横浜日独協会もこれまで会員の皆様よりの義捐金をお送りしていますが、あらためてチャリティーを実施することになりました。

会場は大倉山記念館ホール、開演18時30分。

出演は会員の大島富士子さん(ソプラノ)独唱、遠藤香奈子さん(ヴァイオリン)和歌子さん(ピアノ)姉妹でチャリティーの趣旨にご賛同ご協力下さいませ。

詳細は同封のチラシ及び行事予定をご覧ください。

### 「北風も太陽も」——脱原発ドイツの取り組み

横浜日独協会 会長 早瀬 勇

イソップ寓話の「北風と太陽」では力くらべで太陽が圧勝するのですが、10年後の原発ゼロを宣言したドイツには北風も太陽もとても大切です。北に位置するドイツは太陽光の恵みが少ないのですが、それでも人は健気にパネルを張って頑張っています。残念なことは、太陽光発電の総電力量に占める割合は約2%なのに「再生エネルギー買取制度」の予算の約半分を食ってしまい、電力コスト高の一因となっていることです。一方風力発電は、騒音を嫌われながらもプロペラを洋上に設置したりして健闘しています(昨年は同6%)。

tvkの開局40周年特別番組「環境先進国ドイツに学ぼう」の企画と現地取材に協力し、①森林環境の保護や木材生産など森林経営を研究し、森林官を養成するフライブルク大学森林学部、②核廃棄物処理やエネルギー転換の研究分野の中心であるKIT(カールスルーエ技術研究所)、③シュヴァルツヴァルトでの製材工場(ペレット生産)や小規模水力発電などを去る6月末に取材しました。

どの訪問先でも、環境保全やエネルギー転換に取り組むドイツ人の真剣で積極的な姿勢が印象的でしたが、特にKIT(ディンユス教授指導の施設)での藁を原料としたバイオマス発電のメリットには目を見張りました。かつて東独で原子爆弾製造を指導した科学者が、いま藁を蒸し焼きにして発生する電力と熱エネルギー生産の普及に努めています。時代の要請に即応するこの科学者の柔軟性は驚くほかありません。天候に左右されないバイオマス発電は有望です。そこで一句浮かびました。「脱原発 藁をも掴む バイオマス」

節電でもドイツは先進国で、街で見た省エネ住宅(パッシブハウス)の効率性には感心しました。断熱材の厚さは30~50センチ、夏は涼しく冬は暖かい。昼間は太陽光電気を蓄え、夜は生ごみをバクテリアに食べさせ、そこで発生する熱はシャワーに使い、悪臭は夜空に放つ。支払う電気代はゼロ!

tvk「環境先進国ドイツに学ぼう」の座談会(生放送)で「最後に一言ずつ」と司会者に促されて私は『何でも行政に頼らず。受益者負担で。地域が主役!』と書きました。その心は、「補助金、補助金」とせびるから税金は減らず官僚が驕るのです。身の回りに要る電力は、ドイツ式に受益者がさっさとお金を集めて小規模発電する。それを阻む規制等は見直す、ということです。地域住民が公共事業や安全な社会作りに直接参画する日本に早くしたいものですね。

### 法人会員

株式会社文芸社    ウィンクレル株式会社    ボッシュ株式会社    フェリス女子学院大学  
モトスミ・ブレーメン通り商店街振興組合    株式会社テレビ神奈川

中小企業支援プロジェクト

横浜市政策局・経済局－横浜日独協会 第2回懇談会報告  
プロジェクト・リーダー 会員 坂井啓治

日時 平成24年9月14日  
場所 横浜市政策局会議室  
出席者

〔横浜市〕 政策局国際政策課 三枝忠裕課長、 同国際政策  
富岡典夫担当課長、 経済局国際経済 杉山景一担当課長  
〔横浜日独協会〕 会長 早瀬 勇、常務理事 能登 崇、理事  
Hans-H Judek、運営委員会中小企業支援協力プロジェクト委員  
坂井啓治、 高橋勝義

〔概要と目的〕

横浜市とのフランクフルト市との都市姉妹提携を機縁に、横浜日独協会（JDGY）とフランクフルト独日協会(DJGF)の友好協定が、横浜市のご尽力をえて去る7月2日締結された。JDGYでは、活動の一つとして「(日独)中小企業支援協力プロジェクト委員会」を発足させたが、これに先立ち去る6月28日には上述のJDGYの企画につき市政策局・経済局に説明しご理解を得たので、今後の具体的な進め方につき市側のご指導とご尽力を得るべく第2回懇談会を開催する事が出来た。今回はJDGYとして今後の構想を市に提起し、下記の線に沿って横浜市の中小企業との接点を掴む手法を市のご協力とご指導によって実現することを目的とした。

〔まとめ〕

1. JDGYの提起は

- ①JDGYは日本及びドイツの中小（製造）企業を対象とし、ドイツ・日本の新しい技術（含 特許・ノーハウ・人材育成ほか金融投資面など）・部品・製品などの交流・移転・導入などを斡旋・仲介の形で支援協力したい。
- ②上記の背景となる、欧州の経済産業面での牽引車であるドイツに於けるビジネス風土や実務・課題を、JDGY会員の現地で蓄積された深い知識と体験に基づき中小企業に伝え、昨今の中小企業が必要とする市場開拓や新製品の開発に貢献したいので、市を通じそのような場を設けてもらえないかとの要望を提起した。
- ③出来れば、どのような中小企業が、上記の提案に関心を示してもらえるかを知りたい。（DJG側からも、ドイツ中小企業との経済活動推進に関心のある日本の中小企業のリストを連絡して欲しいとの要請ありと市側に伝えた）

2. 市政策・経済局の見解は

問題は、JDGYが要望する「セミナー」なり「説明会」をどのような場で行うのが良いのか、市が直接やるのが良いのか、商工会議所やジェトロなど他の団体・機関との連携が良いのか、（JDGYの）この種の「提案が活かせる場を考えたい」とのご意向を伺う。

〔経緯〕

1. 冒頭JDGY早瀬会長から、「中小企業支援協力プロジェクト」がJDGY役員会で正式に承認されたこと及び7/2のDJGF-JDGY協定調

印と今後の活動について話し合うキックオフミーティングが行われた事などの状況が市政策局・経済局の出席者に説明された。

2. JDGYが推進しようとする具体的内容として、上記〔会議のまとめ〕①②の背景として平成24年度中小企業白書に「課題」としてあることから、市の指導によるJDGYと中小企業との面談希望をお願いした。また日本やドイツの中小企業の最新技術開発や欧州への市場開拓とその成功例も紹介し、JDGYのこの分野への熱意を表明した。

3. 経済局からは（前回懇談会でも紹介されたが）海外から横浜市への企業誘致や海外展示会への参加推進を含め中小企業を対象にセミナーを何回か開催している事例が紹介された。他方、横浜中小企業動向に関する市の特別調査資料など紹介あり、これには在浜中小企業でEUへの関心が少なからずあると言う調査結果がでていた。

\*\*\*\*\*

ブレーメンの音楽隊像除幕式

法人会員モトスミ・ブレーメン通り商店振興組合は10月7日ブレーメンの音楽隊像の除幕式を行いました。ブレーメンとの長年の親交により、ブレーメンにある良く知られている「ブレーメンの音楽隊像」と同じ型により作られた像が贈られて来たものです。

除幕式に出席した能登常務理事の報告です。



＜ブレーメンの音楽隊像＞除幕式

10月7日午後、モトスミ・ブレーメン通り商店街での＜ブレーメン音楽隊像＞設置記念除幕式に参加致しました。

この像は北海道十勝の農村休暇村フェーリエンドルフ代表の西 惇夫氏のご厚意により当商店街に寄贈された原寸大のもので、元住吉駅エスカレーター昇降口前、商店街入口に設置されました。除幕式には、阿部川崎市長、商工会議所、交流協会、伊藤・山田新旧理事長ほか商店街等から30名が出席、近隣住民も数十名が参加し賑やかに挙行されました。伊藤理事長から「商店街の新メルヘンとして末長く可愛がります」とのご挨拶と共に西代表に感謝状が贈呈され式を終了致しました。会員の皆様も是非一度元住吉駅前のブレーメン音楽隊像をご覧ください。

（能登）

7月例会

「横濱港クルーズと茶話会」

(ホテルニューグランド)

会員 高橋 寿子



(高橋 寿子氏)

7月例会、前日より日本中のあちこちで激しい雨が降り続いており当日もやはり残念ながら止むことなく天候が悪く、降ったり止んだりの中外国の方を含め38名の参加が有り乗船、皆様各々好きな場所を選び午後2時横浜港を出航。空は曇り海の色は空の色を反映致し美しい青い海の色とは行きませんでした。時折横浜港の説明が有りましたが、残念ながらエンジンの音に掻き消され聞き取れませんでした。それでも皆様は早瀬会長の美味しいドイツのお土産チョコレートを頂き歓談を楽しみながら風景を眺めて居りました。風景は企業の工場や建物が多く、タンカーの往来が有り経済発展の入口で有る事の再認識を致しました。

丁度1時間でクルージングが終わり、ホテルニューグランドへ向かいホテルではケーキとお茶の用意がしてあり茶話会が始まりました。早瀬会長より7月2日ドイツ、フランクフルトでの横浜日独協会、フランクフルト日独との協力協定調印式の報告を受けました。歴史的にも有名なカイザーザールでのフランクフルト副市長シュタイン氏、市議会議長ヴァイラント氏、ゲンプト日独協会会長、全ての方々が見守る中で早瀬会長が協定書に署名され、その行事がフランクフルター・アルゲマイネ紙、ビルト・フランクフルト紙に掲載された事をお聞き致し、その场景(フランクフルトでの生活を思い出し)を想像しつつ深い感銘と誇らしげさが行き来しました。この様子が9月8日にテレビ神奈川「明日の地球と子供たち」にて放送されるとの事楽しみに致したいと思います。

早瀬会長はじめご一諸に同行なされた大久保様、能登様、神永様に感謝と共にお疲れさまでしたと申し上げたく思います。調印式の報告をお聞きになられた会員の皆様はきっと益々の繁栄がある事と信じうれしいご報告を受けながらのケーキとお茶は格別のものであったと思います。この日の一日の天候は曇りでしたが素晴らしい報告を受け心の中は晴れでした。再度皆様と友好を深めた思いを致しました。



(クルージング)

9月例会

オクトーバーフェスト

会員 磯貝喜兵衛



(中央が磯貝氏)

Ein Prosit, Ein Prosit,  
さあ祝杯をあげよう!  
der Gemütlichkeit!  
さあ祝杯をあげよう!  
この心地よきひとときに!  
Ein Prosit, Ein Prosit,  
さあ祝杯をあげよう!  
der Gemütlichkeit!  
さあ祝杯をあげよう!  
この心地よきひとときに!

9月22日。今年もドイツ最大のビール祭り「オクトーバーフェスト」が本場のミュンヘンで開幕。それに合わせて、横浜日独協会の9月例会が横浜市中区のYokohama Country & Athletic Clubで午後4時から開かれました。

日本最古の外国人クラブを誇る会場は、広大な敷地に芝生が青々と育ち、テント張りの下で約50人の会員たちが、楽団演奏に合わせて、乾杯の歌「アインブロージット」を高らかに合唱。お祭り気分は一気に盛り上がりました。

この日はドイツ直輸入の5種類のビールをはじめ、ワインなどの飲み物と、豚肉や鶏肉のバーベキューが用意され、初秋の気持ちよい夕風に吹かれながらの野外の会食で、会話もいちだんと弾みます。

尖閣諸島をめぐるうっとうしいニュースが相次いだとだけに、そんなモヤモヤを吹き飛ばすように、次々とにぎやかに演奏されるWoho & Kalendar Bandのドイツ歌曲に合わせて、踊りの輪がいくつも出来ました。



(Selig夫妻)



◀ (まるてんぜん夫妻)

(ダンス) ▶



◀ (菊川さんとオトモダチ)

昨年12月の例会もここYC & ACの会員であるSeligご夫妻の肝いりで「クリスマス・忘年の集い」が開かれましたが、今回も同様ご夫妻の献身的なお世話で「ビール祭り」の例会が実現。おかげさまで、本場の気分を楽しく満喫することが出来ました。

なお、この場をお借りして一つご報告申し上げます。昨年12月4日(日)のクリスマス例会に出演しました洋光台男声合唱団YSLC(団員14人のうち5人が横浜日独協会々員)が10月3日のドイツ統一記念日の祝賀式典(駐日ドイツ大使館)で、ドイツ・日本両国歌を斉唱しました。

Dr. Volker Stanzel大使公邸で行われたVIPレセプションには横浜日独協会の早瀬勇会長ご夫妻、田中真紀子文部科学大臣、作家のロナルド・キーン氏らが出席。

田中真紀子さんはゲスト・スピーチの中で、ハイドン作曲のドイツ国歌が、「高校留学したアメリカのミッションスクールの校歌と同じメロディーで懐かしかった」と話し、YSLCメンバーと一緒に歌う一幕もあり、たいへん和やかな一タとなりました。



(在日ドイツ大使館提供)

## ドイツパン専門工場・専門店の見学と試食会参加の記

会員 永田 照夫

酷暑の昼時7月30日でした。11時集合予定で東急東横線・綱島駅に到着。偶然近くの席にいらした、丸典膳さんが予め調べてきたよと感心な心がけ。

と一緒に20分前にアムフルス(川の畔)店に到着。誰もいない。暫くしてマイスターの山本さん他2名。女性が一人。JDGYの方は何方が参加なのか? とお店の中で棒立ち。結果としては8名が参加してドイツパン用オーガニック素材のライ麦の話とか 製造プロセス等の丁寧な説明を受ける。

山本毅さんは17歳から渡独、苦勞して10年。マイスターの資格を取得された爽やかな好青年。見聞きしながら興味を引いたのはドイツ製L型の粉を練る器械や板状の長いパネルに乗せて焼く窯とその45分の工程でした。美味しいのはナルホドと言う訳。大量生産のパン工場とは一味違うのは当然ですね。

そしてやっと試食会。旨そうなパンとハム・ソーセージ・缶ビールが並ぶ。

横浜日独協会ホームページ

URL:<http://jdg.sub.jp/index.html>

ヴァイツエンミッシュにはオリーブオイルと生ハム・ビアブロートはレバーペースト、岩塩等と。日頃余りお目に

かからないカイザーゼンメルにレタス、サラミが良い等、大変勉強になりました。流石に女性群は理解が速いですね。帰途お店でお土産のパン迄載いて満足。丸典膳さんと暑中闊歩しました。

山本さん・ラインならぬ鶴見川の畔で頑張ってください成功を祈ります。

\*\*\*\*\*

## 行事予定

### 10月例会

講演会 「第二次世界大戦をめぐる日本人の三つの戦争観  
—被害者・加害者・アジアの開放—」

講師： 中島三千男神奈川大学学長

日時： 10月13日(土)午後3時～

会場： 横浜ワールドポーターズ6階会議室1+2

Tel:045-222-2400 JR桜木町駅より徒歩8分

会費： 1000円 ・懇親会： 500円

### 11月例会

#### チャリティ・コンサート

日時： 11月3日(土)午後6:30(開場:6:00)

会場： 大倉山記念館 東急大倉山駅より徒歩7分

出演者、曲目は本会報の1頁及び同封チラシをご参照下さい

会費： 2000円(チャリティ費用を含む)

### 12月例会 忘年会/クリスマス・パーティー

日時： 12月8日(土)14:00~17:00

会場： グリーنز・ハーバー横浜関内店  
中区羽衣町2-7-4

Tel: 045-260-0455

会費： 女性 4000円 男性 6000円

\*\*\*\*\*

## 編集後記

テレビ神奈川の特別番組「あすの地球と子どもたち」を見ました。現地取材に同行したこともあり特に関心を持ってDVDにも録画しました。事前準備、3泊4日の現地訪問、事後編集の時間を考えると実にコンパクトになっていることに感心しました。ドキュメンタリー番組の制作の裏側を実体験し色々触発されました。

体育の日の連休に南三陸町を訪ねました。町全体が壊滅的被害を受け復興の気配の余り感じられない現状に、この1年半がどのように経過したのか遣り切れなさを感じさせられました。志津川中学校の隣の仮設住宅に「ドコデモエコカー」の車両も見えて来ました。ユーデック理事の活動ぶりに改めて感動しました。11月3日のチャリティコンサートを是非成功させましょう。

(大久保)